

令和4年度 会報

埼玉県連合教育研究会

令和4年10月7日
埼玉県連合教育研究会
責任者 澤田 純一
事務局 〒330-0804
さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内
印刷 関東図書株式会社



埼玉県連合教育研究会
会長 澤田 純一

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、令和4年6月15日（水）開催予定でした本年度の評議員会（総会）につきましては、新型コロナウイルス感染者の再拡大により、評議員会を中止とし、書面による議案の審議・議決とさせていただきます。私は、評議員の皆様のご承認を得て、田中 民雄前会長の後を受け、伝統と格式のある本会会長という大役をお引き受けすることとなりました澤田 純一（さわだ よしかた）と申します。微力ではありますが、本会発展のために全力を尽くしてまいりますので、これまでと変わらぬご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年度、本会も昭和39年設立以来58年目を迎え、60周年を目の前にしており、「コロナ禍でも教育研究活動は止めない」という各地域教育研究会（55団体）をはじめ各教科等研究団体（19団体）の会員の皆様の自主的で創意溢れる教育研究活動の推進の姿を見ることができ、本当に心強く感じております。

昨年度、下記のように本年度の「活動方針と重点・努力点」の文言を修正し、「国や世界の状況を適切にとらえ、持続可能な社会の創り手となる人財の育成」や「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現」を書き加えました。

会員の皆様には、是非、この文言の趣旨をご理解いただき、明日を担うべき児童生徒のための日々の授業改善をはじめ、各研究団体での研究と修養にご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

そのためには、やはり、会員の皆様のご家族と触れ合う時間の確保や健康のための働き方改革に係る事業の見直しが重要ではないでしょうか。

特に、GIGAスクール構想により急激に進んだICT機器の活用による事務局業務の軽減に資するべく、本会においても、教科等研究団体へのICT運用費の予算編成をはじめホームページからの情報提供や会議のオンライン化、メールリストでの配信などにも積極的に取り組んでまいります。

令和4年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中・特別支援学校・義務教育学校等の教育の充実と発展に邁進する。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市等の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動を推進し、「教育立県・埼玉」の実現に邁進する。
- 3 国や世界の状況を適切にとらえ、持続可能な社会の創り手となる人財の育成を目指して、質の高い教育研究活動を推進し、その実現に邁進する。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の育成を図るため、「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた教育研究活動を一層推進する。
- 2 豊かな心と健やかな体を育て、たくましく生きる力を育む教育研究活動を一層推進する。
- 3 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けた組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。

各研究団体には、コロナ禍ではありますが、事務局業務の負担軽減を図りつつ、各研究主題に向けての自主的・創造的・組織的な研究活動により邁進していただけますよう期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに公営財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。



ホームページ
QRコード

目次

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| ・会長あいさつ、活動方針と重点・努力点…………… 1 | ・教科等研究団体等の研究主題・研究内容…………… 5 |
| ・令和4年度役員・評議員等名簿…………… 2 | ・地域教育研究団体の取組…………… 9 |
| ・組織・運営図…………… 3 | ・事務局だより・研究論文入賞者研究論文の概要…………… 13 |
| ・会費・負担金等の流れ…………… 4 | ・令和5年度研究論文募集要領（案）…………… 16 |

令和4年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等名簿

1. 本部役員等

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	澤田 純一	さいたま・大宮東中	理事(書写)	星 越 敦	行田・行田中
副会長(さいたま)	小林 正美	さいたま・大宮八幡中	〃(音楽)	藤川 英子	戸田・美谷本小
〃 (南部)	伊藤 潔	上尾・上尾中	〃(道徳)	藤澤美智子	さいたま・本太小
〃 (西部)	藤井 文則	富士見・勝瀬小	〃(心理相談)	金井 健治	坂戸・住吉中
〃 (北部)	森田 健二	熊谷・籠原小	監 事	藤谷 健二	富士見・関沢小
〃 (東部)	坪井 俊治	吉川・関小	〃	堀川 大輔	熊谷・桜木小
常任理事(さいたま)	藤澤美智子	さいたま・本太小	〃	秋山 弘幸	越谷・桜井南小
〃 (南部)	小出喜代子	川口・領家中	編集委員長	越智 宏明	さいたま・与野西中
〃 (南部)	岩淵 健志	草加・小山小	編集委員	笠原 雅之	埼玉大学・附属小
〃 (西部入間)	長谷川陽子	所沢・南小	〃	大塚 悠希	埼玉大学・附属中
〃 (西部比企)	下村 晴恵	嵐山・菅谷小	〃	石川 和宏	埼玉大・附属特別支援
〃 (北部秩父)	浅見 博美	長瀬・長瀬第一小	〃	小代美智子	さいたま・道祖土小
〃 (北部児玉)	岡村 和美	本庄・本庄南小	〃	大島 綾子	蕨・南小
〃 (北部大里)	加藤 修	深谷・上柴西小	事務局長	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中
〃 (東部北埼玉)	樋口 成久	羽生・須影小	幹 事	山口祐貴子	さいたま・大宮東中
〃 (東部埼玉葛)	西田 知巳	越谷・南越谷小	〃	相馬 兼人	さいたま・大宮東中

2. 教科等研究団体

No.	研究団体名	会長名	所 属
1	埼玉県国語教育研究会	金子 正	久喜・太田小
2	埼玉県書写教育研究会	堀越 敦	行田・行田中
3	埼玉県社会科教育研究会	増田 正夫	加須・加須小
4	埼玉県算数数学教育研究会	今泉 達也	上尾・上尾小
5	埼玉県理科教育研究会	郡 豊	川口・芝西小
6	埼玉県音楽教育連盟	藤川 英子	戸田・美谷本小
7	埼玉県美術教育連盟	勝山 寛美	上里・上里中
8	埼玉県保健体育研究会	中西 健二	三郷・幸房小
9	埼玉県英語教育研究会	青野 保	蓮田・黒浜西中
10	埼玉県道徳教育研究会	藤澤美智子	さいたま・本太小
11	埼玉県特別活動研究会	梅田 竜平	新座・東北小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	堀川 博基	富士見・富士見台中
13	埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会	清水 肇	さいたま・大宮南小
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	金井 健治	坂戸・住吉中
15	埼玉県特別支援教育研究会	内河水穂子	さいたま・みどり特別支援
16	埼玉県学校図書館協議会	天達 新一	川越・寺尾中
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	安藤 義仁	蓮田・黒浜中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	小峯由起子	羽生・羽生北小
19	埼玉県生活科総合的な学習の時間教育研究会	田中 京子	蕨・西小

3. 地域教育研究団体

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属
南 部	1	埼玉大学教育学部附属小学校	細川江利子	埼玉大学・附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	鷲 巣 明喜	東松山・新明小
	2	埼玉大学教育学部附属中学校	安藤 聡彦	埼玉大学・附属中		31	小川班教育研究会 ^{※2}	下村 治	小川・東中
	3	さいたま市教育研究会	小林 正美	さいたま・大宮八幡中		32	菅谷班教育研究会 ^{※3}	下村 晴恵	嵐山・菅谷小
	4	川口市教育研究会	小出喜代子	川口・領家中		33	玉川班教育研究会 ^{※4}	栗田 秀人	ときがわ・玉川小
	5	草加市教育研究会	岩淵 健志	草加・小山小		34	川島教育研究会	佐藤 香織	川島・西中
	6	蕨市教育研究会	菅原 義裕	蕨・東小		35	吉見教育研究会	小林 克則	吉見・南小
	7	戸田市教育研究会	鈴木 薫	戸田・戸田南小	秩 父	36	秩父教育研究会 ^{※5}	浅見 博美	長瀨・長瀨第一小
	8	志木市教育研究会	阿部 剛	志木・志木小	児 玉	37	児玉郡本庄市教育研究会 ^{※6}	岡村 和美	本庄・本庄南小
	9	朝霞市教育研究会	嶋 徹	朝霞・朝霞第七小	大 里	38	熊谷市教育研究会	齊藤 豊	熊谷・妻沼東中
	10	新座市教育研究会	金澤 勇一	新座・東野小		39	深谷市教育研究会	加藤 修	深谷・上柴西小
	11	和光市教育研究会	辻 英一	和光・広沢小		40	寄居町教育研究会	関口 葉子	寄居・用土小
北 部	12	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	吉川はる奈	埼玉大・附属特別支援	北 埼	41	行田市教育研究会	中居 武司	行田・泉小
	13	鴻巣市教育研究会	関根 正味	鴻巣・鴻巣東小		42	加須市教育研究会	安藤 康浩	加須・大利根東小
	14	北本市教育研究会	大竹 達也	北本・中丸小		43	羽生市教育研究会	樋口 成久	羽生・須影小
	15	上尾市教育研究会	中島 晴美	上尾・平方北小	埼 葛	44	春日部市教育研究会	大島 薫	春日部・緑中
	16	桶川市教育研究会	相澤 仁志	桶川・加納中		45	越谷市教育研究会	佐々木 清	越谷・蒲生小
	17	伊奈町教育研究会	今田 利信	伊奈・小針中		46	久喜市教育研究会	金子 正	久喜・太田小
入 間	18	川越市教育研究会	天達 新一	川越・寺尾中		47	三郷市教育研究会	中村 和美	三郷・丹後小
	19	所沢市教育研究会	長谷川陽子	所沢・南小		48	蓮田市教育研究会	的場 敏幸	蓮田・蓮田南中
	20	飯能市教育研究会	渡部 毅	飯能・原市場中		49	幸手市教育研究会	野口 祐人	幸手・西中
	21	日高市教育研究会	久米 隆寛	日高・武蔵台小		50	八潮市教育研究会	佐々木京子	八潮・松之本小
	22	狭山市教育研究会	鈴木 浩明	狭山・入間川中		51	杉戸町教育研究会	但木 和久	杉戸・杉戸中
	23	入間市教育研究会	浅見 信治	入間・上藤沢中		52	吉川市教育研究会	小山 悟	吉川・吉川小
	24	富士見市教育研究会	武田 圭介	富士見・鶴瀬小		53	松伏町教育研究会	齋藤 明	松伏・松伏中
	25	ふじみ野市教育研究会	村越 澄子	ふじみ野・さぎの森小		54	白岡市教育研究会	新井 範夫	白岡・菁莪中
	26	坂戸市教育研究会	鈴木 博貴	坂戸・南小		55	宮代町教育研究会	長井 勝利	宮代・前原中
	27	鶴ヶ島市教育研究会	久保 吉則	鶴ヶ島・藤小		入間地区連合教育研究会		石井 伸明	川越・霞ヶ関中
	28	越生班教育研究会 ^{※1}	熊田奈緒美	毛呂山・泉野小		埼玉葛連合教育研究会		西田 知巳	越谷・南越谷小
	29	三芳町教育研究会	宇佐美宏一	三芳・藤久保小	<令和4年度 学校数 1,218校 会員数 30,626名>				

<令和4年度 学校数 1,218校 会員数 30,626名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】

※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】

※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】

※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】

※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

埼玉県連合教育研究会 組織・運営図

会員=30,626名の先生方



ホームページ
をご覧ください。
【※スマホ対応】

正副会長会 6名

・会長 1名
・副会長 5名

常任理事・理事会 20名

・会長 1名
・副会長 5名
・常任理事 10名<地域教育研究団体>
・理事 4名<教科等研究団体>

評議員会(総会) 83名

・会長 1名
・副会長 5名(兼評議員1名)
・監事 3名
・常任理事 10名(兼評議員9名)
・理事 4名(兼評議員4名)
・評議員 教科等団体長19名
地域団体長 55名

活動方針作成委員 8名

・会長 1名 ・副会長 2名
・常任理事 3名 ・理事 2名

会員【本年度 30,626名】

・公立小・中学校、義務教育学校、
特別支援学校
・埼玉大学教育学部附属小・中学校
・埼玉大学教育学部附属特別支援学校
・希望する私立中学校・特別支援学校等
・校長 ・副校長 ・教頭 ・校内教頭
・主幹教諭 ・教諭 ・養護教諭

事務局 3名

・事務局長
・幹事 2名
・会報発行
・研究集録発行
・研究論文募集
審査・表彰
・講演会

会費負担金

講演会補助

論文応募
表彰・資料費

配分金

旅費配当

事務局
局長等
研究協議

助成
補助

助成・補助→埼玉県・さいたま市・教育公務員弘済会から

全県 小中学校1,218校

地域教育研究団体55 ※=複数市町村

1	埼玉附属小	30	東松山市
2	埼玉附属中	31	小川班※
3	さいたま市	32	菅谷班※
4	川口市	33	玉川班※
5	草加市	34	川島
6	蕨市	35	吉見
7	戸田市	36	秩父※
8	志木市	37	児玉郡本庄市※
9	朝霞市	38	熊谷市
10	新座市	39	深谷市
11	和光市	40	寄居町
12	埼玉特別支援	41	行田市
13	鴻巣市	42	加須市
14	北本市	43	羽生市
15	上尾市	44	春日部市
16	桶川市	45	越谷市
17	伊奈町	46	久喜市
18	川越市	47	三郷市
19	所沢市	48	蓮田市
20	飯能市	49	幸手市
21	日高市	50	八潮市
22	狭山市	51	杉戸町
23	入間市	52	吉川市
24	富士見市	53	松伏町
25	ふじみ野市	54	白岡市
26	坂戸市	55	宮代町
27	鶴ヶ島市	—	入間地区連合
28	越生班※	—	埼玉連合
29	三芳町	—	

全国関東
埼玉大会
の開催

全国関東
埼玉大会
への参加

教科等研究団体の全国・関東地区教育研究大会の開催予定 (令和4年7月15日現在)

	全国大会 (埼玉大会)		関東地区大会 (埼玉大会)	
小・中学校別	小学校	中学校	小学校	中学校
令和4年度	—	—	⑩道徳	—
令和5年度	⑮特別支援(言語聴聴・情調)	⑪特別活動 ⑮特別支援(言語聴聴・情緒)	⑦美術 ⑯学校図書館	①国語 ③社会科 ⑦美術 ⑯学校図書館
令和6年度	⑨英語	⑨英語	⑨英語 ⑯生活・総合	⑨英語 ⑫進路・キャリア ⑯生活・総合
令和7年度	—	—	⑤理科 ⑥音楽	⑥音楽
令和8年度	—	—	—	⑤理科 ⑰中技術家庭科
令和9年度	—	—	—	⑨英語

埼玉県連合教育研究会の各事業は、会員【30,626名】の皆様の会費・負担金及び各種補助金等により運営されています。

会費・負担金等の流れ

会員の皆様

会費の納入

- ・埼玉県教育委員会
- ・さいたま市教育委員会
- ・教育公務員弘済会埼玉支部

助成
補助

市町村（地域）教育研究団体会費・負担金

学級数割負担金

個人会費500円

納入

納入

埼玉県連合教育研究会事務費・公費補助（全予算）

教科等団体へ

- 配分金（活動費）
- 旅費の特別配当

教科等団体へ

令和4年度
埼玉大会
研究大会
追加配分

「研究集録付
研究論文集」
配付【3月】

全小・中学校等

講演会等補助

地域教育
研究団体
（市町班教研）

全会員から

研究論文
・募集
・表彰

全会員へ

「会報」
配付【10月】

No.	教科等研究団体19
1	国語
2	書写
3	社会科
4	算数数学
5	理科
6	音楽
7	美術
8	保健体育
9	英語
⑩	道徳（小） ※11/11(金)
11	特別活動
12	進路指導・キャリア教育
13	学校視聴覚
14	教育心理・教育相談
15	特別支援
16	学校図書館
17	中学校技術・家庭科
18	小学校家庭科
19	生活科・総合的な学習の時間

※令和4年度の埼玉大会開催団体は、左の一団体です。
・関東地区大会【道徳（小）】十一月十一日（金）開催

研究大会・協議会
・研修会等に参加
しましょう。

《会員の皆様の所属》
【地域教育研究団体・教科等研究団体に所属されています。】

本研究会は、58年目を迎えた会員数約3万人を有する埼玉県最大の教育研究団体です。

会員の皆様からの会費は、本研究会の設置の目的である埼玉教育の充実に向け、主に各教科等研究団体の研究のための配分金等に約6割、地域教育研究団体の開催する講演会補助金に約1割、研究論文の研究資料費等を含む本部事務局費等に約3割が充てられています。本年度も、会員の皆様からの会費を大切に、また、費用対効果を考えながら各種事業の運営に努めてまいります。

会員の皆様には、本年度も、自ら進んで研究大会や研究協議会・講演会等に参加したり、研究論文に応募したりしながら、埼玉教育の充実に向け研究と修養に努めていただきたいと思います。

No.	埼玉大学教育学部
1	附属小学校
2	附属中学校

10/18(火)・19(水)研究協議会

5/24(火)・25(水)研究協議会

令和4年度

**教科等研究団体及び埼玉大学
教育学部附属小・中学校の
研究主題・研究内容
《21団体》****1. 国語教育**

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成を
めざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図るとともに、興味・関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育むとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

研究主題を具現化するために、言語環境をはじめ教材や教具、学習形態や学習方法、言語活動が豊かに整えられ、一人一人のよさを認め、伸ばしていこうとする国語教室こそ、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高めることができるものと考え、これらの実践的研究と様々な事業を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「書字文化を育む書写教育」

2 研究内容

日常に資する技術向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の発表）

※ 本年度は中止。

- (2) 実技研修会（8月 教職員の指導技術向上）

- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）

※ 紙上発表による実施

- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）

※ 硬筆展は、紙上発表による実施

※ 書きぞめ展は、規模を縮小して開催する予定

- (5) 『研究集録』の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

(小)「社会がわかり、社会にかかわる子供を育てる社会科学学習」

(中)「追究する力を育てる社会科学学習」

小・中学校それぞれの研究主題に向け、社会科教育の今日的課題と本質的課題に対し、これまでの研究成果を生かして研究・実践を行っている。

2 研究内容

- (1) 小・中学校地域学習研修会

- (2) ブロック別授業研究会

- (3) 研究発表大会

過年度までの研究を継続して深めていくために、上記の行事を実施し、研究とその成果を広めていく。

また、令和5年度開催予定の関東ブロック中学校社会科教育研究大会及び前年度プレ大会並びに令和10年度に開催予定の全国中学校社会科教育研究大会に向けての研究を小・中学校で協働して進めている。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深めるとともに、指導内容の系統を明らかにし、算数（数学）的活動を重視した学習指導が展開できるようにする。

そのために、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方や考え方のよさに気付かせ、既習事項を活用できるよう学習過程での活動や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「自然を主体的・科学的に探究する

資質・能力の育成」

2 研究内容

児童生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を主体的・科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する学習指導の研究及び実践を行っている。

- (1) 問題解決の学習過程を重視した探究的な学びの充実

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
本年度は、ウィズコロナ時代の新たな形の研修の在り方について継続検討を行いながら、研究会活動を進めている。

研究委員会等では、ウェブ会議システムZoomや

Google Classroomを活用しつつ、発表会等では対面のよさを活かした参集型を採用している。

の資質・能力を育てる保健教育の工夫」

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した
指導の工夫 ～個別最適な学びと協働的な学び
の実現を目指して～」

2 研究内容

一人一人の豊かな学びの実現を目指すために、研究の視点を「個別最適な学びと協働的な学び」とし、本年度は、子供たちの個別最適な学びや協働的な学びの具体を探っていく。

また、これらの学びを支え、充実させる指導の工夫について研究を進めていく。

その際、一人一台端末を効果的に活用していく。

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「造形教育の新天地！ ワイワイ埼玉 Artlearntis」

2 研究内容

- (1) 受け止めよう 子どもの心
- (2) 育てよう 確かな力
- (3) 深めよう 生き生き授業

3 今後に向けて

来年度の第51回関東甲信越静地区造形教育研究大会埼玉大会に向けて、研究部と実行委員会を中心に協議、準備している。

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

(小)「運動の特性や魅力に応じた楽しさや
喜びを味わうとともに、資質・能力を
バランスよく身に付ける授業の工夫」
「健康・安全に関する内容を実践的に
理解する保健学習の工夫」

(中)「生徒一人一人を確実に伸ばす
保健体育指導の実践」

2 研究内容

- (小)「器械運動系」「陸上運動系」「保健」
(中)「陸上競技の特性に応じた効果的な
学習指導の工夫」
「体づくり運動の特性に応じた効果的な
学習指導の工夫」
「生涯を通じて心身の健康を保持増進するため

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「21世紀を逞しく生き抜く人材の育成
を目指した英語教育～コミュニケーション
を大切にする児童生徒の育成～」

2 研究内容

各地区の代表の教員による英語の授業実践や学習指導等の研究発表や、それらに対する活発な意見交換を通して、教員の資質・能力の育成及び主題についての研究を深めたい。

また、日頃の学習指導の成果発表の場として、中学生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「人としての生き方について考えを深め、
よりよく生きる児童生徒を育てる道徳教育の創造」
～学習指導要領が求める道徳教育の実践を通して～

2 研究内容

(1) 8月「夏季研修会」：教材吟味等を行い、授業実践、指導方法改善について協議を行う。

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の浅見 哲也 氏の講演会を実施し理論と実践の研究を深める。(※ オンライン開催)

(2) 11月「関東甲信越小学校道徳教育研究大会(埼玉大会)、埼玉県道徳教育研究大会(さいたま大会)」：さいたま市立本太小学校を会場に公開授業及び課題別分科会等を行う。 11月11日(金)

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の浅見 哲也 氏の講演会を実施し、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「多様な他者と協働する力を育む特別活動」

2 研究内容

特別活動で育成を目指す資質・能力を「多様な他者と協働する力」ととらえ、育むための手立てや方法について研究を深める。

研究の内容は、①多様な他者と協働する力を育むための指導計画、②「多様な他者と協働する力を育むための指導と評価の方法」の2点を中心とし、研究を進

めていく。

また、①専門委員研究協議会（年3回）、②定期総会・講演会、③夏季研究協議会、④研究集録発刊、⑤会報「特活」発刊（年3回）、などを通して、県内の特別活動の充実、発展を目指す。

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生き抜く力を育てる
キャリア教育の推進 ～小中一貫を円滑に
進めるための協働的な取組を通して～」

2 研究内容

一昨年度中止とした25地区進路指導・キャリア教育研究協議会を、昨年度は、スライドして県内全25地区で実施することができた。

本年度も各校の実態により、リモートの活用、授業公開の実施、自校独自のリーフレット作成、本会作成の研究紀要での発表等により研究を進める。

特に、「小中一貫のキャリア教育」「小学校のキャリア教育」「進路選択の多様化に向けて（通信・フリースクール等への進学）」等について研究を深める。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「心豊かに、自ら学び、主体的に活動する力
を育む教育メディアの活用をめざして
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～」

2 研究内容

教育メディアを積極的に活用することでプログラミング教育等を研究・実践する。

その中で、児童生徒が「自ら学ぶ力」と「主体的に問題を解決する力」を身に付け、生きる力を身に付けることをねらいとする。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「考える力、そして想像する力と創造する力を
育てる放送教育 ～ひろがる つながる
深まる みんなと幸せになる～」

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送活用を推進し、授業研究会・メディア研・放送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発表していく。

《埼玉県教育機器研究会》

※本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援
～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、
自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 全特連埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造
～主体的・対話的で深い学びを支える
学校図書館教育～」

2 研究内容

- (1) 研究
学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。
- (2) 事業
・集会 理事会、学校図書館研究大会

- ・協議 第1～2回研究協議会、第1～2回研究部会
- ・研究 学校図書館授業研究会
(川越市立南古谷小学校)
- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰
- ・刊行 埼玉SLA会報91・92号
感想文・感想画集『真珠』
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
- ・参加 全国学校図書館研究大会
※オンライン発表参加

(3) 調査

埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
(組織・総会資料・真珠。研究紀要等)

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を
育成する学習指導の研究」

2 研究内容

本研究会では、この数年間、これまでの実践を基にして、学習指導要領の改訂に向けた効果的な指導や評価に関する研究を進めてきた。

新学習指導要領が昨年度に全面実施となり、現在、研究に基づいた実践と成果の検証を行っている。

関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会埼玉大会の開催を4年後(令和8年度)に控えて、専門委員会を中心としたよりよい技術・家庭科教育を推進するための学習指導と評価の研究をより一層推進する。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育
～学びをつなぎ、家庭生活をよりよくしようと
工夫し実践する児童の育成～」

2 研究内容

- (1) 坂戸市立南小学校において、第53回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会を開催。
- (2) 夏季研修会において講演会を実施。
(講演会は中止、本部役員研修会のみ実施。)
- (3) 埼玉県児童生徒発明創意くふう展の開催。
- (4) 『会報42号』の編集と発行。

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場면을類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「学びをつくる」(3年次)
～子供たちが自覚と自己決定をくりかえすために～

2 研究内容

- (1) 第90回小学校教育研究協議会
令和4年10月18日(火)・19日(水)に予定している。
研究の3年次として、各教科、健康教育の授業公開、提案・協議を行う。
- (2) 校内授業研究会
個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、感染症対策に留意しながら全員で研究協議(質疑・グループ協議等)を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現
～挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方～」

2 研究内容

副題を「～挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方～」とし、「挑戦心を引き出す学習指導の工夫」と「個別最適な学びの工夫」を研究の手立てとして、実践研究を行った。

各授業等において、挑戦心が表れている具体的な生徒の姿を設定し、その姿が表出するように工夫を行った。

- (1) 生徒が自ら課題を設定すること
- (2) 挑戦心を引き出す単元・題材計画の作成
- (3) 課題に取り組むための多様な方法の提供
- (4) 中学校教育研究協議会

令和4年5月24日(火)・25日(水)開催
研究の第1年次

令和4年度

地域教育研究団体の 取組 《14団体／55団体》

1. 川口市教育研究会

会長 小 出 喜 代 子

本会は、川口市立小学校52校、中学校27校の教職員、約2,300名を会員として、22の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会の基本理念「子どもから出て子供に還る」に基づき、学校の教育活動との調和と充実を図る。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、例年実施していた活動内容の精査、開催方法の変更等を行い実施の予定である。

(1) 定期総会

(2) 評議員会

(3) 部長副部長会議

(4) 教育講演会

(5) 本部役員会

(6) 各部の研究活動

①研究部主催の授業研究会、研修会 ②展覧会等

③音楽鑑賞教室 ④英語弁論大会 ⑤研究紀要発行

⑥市教研情報誌発行

2. 志木市教育研究会

会長 阿 部 剛

本会は、志木市立小学校8校、中学校4校の教職員320名を会員として、35の研究部で組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本会は、公教育の理念に基づき、志木市の主任会と連携し、本市教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

(1) 市内一斉授業研究会

教員の授業力向上を図ることを目的とし、12教科・領域において授業研究を行う。

令和3年度・4年度は、授業研究会前の主任会、

指導案検討会をオンラインで行うなど、感染防止に努めながら行っている。

(2) 各部会の取組

令和2年度に実施できなかった授業研究会は、令和3年度より実施することができた。各展覧会は、規模を縮小して実施できたが、音楽会・講演会・各種大会（球技大会・陸上大会等）は、一部実施を見合わせる事となった。

(3) 各種団体との連絡提携

(4) その他必要な事項

3. 桶川市教育研究会

会長 相 澤 仁 志

本会は、桶川市立小学校7校、中学校4校に在籍する308名の教職員を会員として組織され、21の部会によって構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、市内教育の振興を図り、文化の進展に寄与することを目的としている。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた開催方法で実施する。

(1) 定期総会（書面評決）5月

(2) 教育講演会（オンライン開催）市教委との共催

期日 8月23日（火）

演題 「HSCをはじめとする多様性への対応」

講師 立教大学現代心理学部心理学科

教育研究コーディネーター

竹森 亜美 氏

(3) 各研究部の活動

各部が研究テーマを設定し、研究協議会、授業研究会、実技研修会、現地視察研修、各種展覧会等を実施する。

(4) 研究紀要の作成

4. 所沢市教育研究会

会長 長 谷 川 陽 子

本研究会は、小学校32校、中学校15校に在籍する教職員約1,250名を会員数とする組織である。

会員は、6地区24研究部に所属して研究活動を進めている。

1 本研究会の目的

本研究会は、教育基本法に基づき、自主的な教育活動を推進、職能の向上を図るとともに、所沢市教育の進展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法の変更や中止の事業あり。

- (1) 教科領域部会
- (2) 代議員総会
- (3) 運営委員会・本部委員会
- (4) 各教科領域研究部の活動
・主任研修会（研究協議会、授業研究会等）
- (5) 各教科領域部会の主な主催事業
①硬筆展 ②書きぞめ展 ③市内科学展
④英語スピーチコンテスト ⑤親善音楽会
⑥市内美術展 ⑦ふれあい作品展
⑧発明創意くふう展等

5. 富士見市教育研究会

会長 武 田 圭 介

本研究会は、富士見市の小学校11校、中学校6校、特別支援学校1校の計18校に在籍する教職員515名を会員として、24の研究部、4つの研究班で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、富士見市立学校教職員の自主的・組織的な研究活動を推進し、職能の向上と教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 定期総会 5月2日（月）（オンライン開催）
- (2) 本部役員会、理事会、研究部長・班長会議
（年間8回開催）
- (3) 会員の研究活動（研究部・班ごとに計画）
- (4) 各研究部の活動
・主任会、授業研究会、研究発表会、実技研究会等
- (5) 教育講演会 1月13日（金）富士見市民文化会館
コロナ禍において、非集合型のオンライン会議を必要に応じ取り入れ対応している。
今後も、感染対策とは別に内容によっては、リモート対応を効果的に取り入れていく。

6. ふじみ野市教育研究会

会長 村 越 澄 子

本研究会は、小学校13校、中学校6校の計19校の教職員504名を会員とし、29の部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、ふじみ野市立小中学校教育の振興を図るとともに、会員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合形式の総会や講演会等は行わず、書面開催やリモートによる研修など、各部会が多様な形で研究を進める。

- (1) 一斉主任会（書面開催）
- (2) 理事・部長研修会（リモート開催）
- (3) 定期総会（書面開催）
- (4) 各研究部の活動
①主任研修会
・研究協議会、授業研究会、実技研修会等
②主な主題事業
・硬筆展、書きぞめ展、科学展等

7. 東松山市教育研究会

会長 鷲 巢 明 喜

本研究会は、小学校11校、中学校5校の教職員445名で組織され、32の教科領域等の部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、東松山市内の教職員の資質向上及び教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 総会及び研修会（オンライン開催）
- (2) 理事研究協議会
- (3) 教育講演会（オンライン開催）
- (4) 教科等主任研究協議会・部長会
- (5) 各教科領域研究部事業
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法の変更や中止の事業あり。

8. 秩父教育研究会

会長 浅 見 博 美

本研究会は、秩父地区の小学校23校、中学校12校の会員数621名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会
第1回 5月6日（金）※総会を兼ねる
第2回 7月8日（金）（書面開催）
第3回 令和5年3月9日（木）
- (2) 総会（書面決議）
5月6日（金）
代議員による組織づくり・事業計画作成

(3) 各研究部の活動

5月～令和5年2月

各研究部主体による研修会・授業研究会を実施

(4) 教育講演会 (オンライン開催)

期日 8月9日 (火)

講師 MASAKing 氏

演題 「ICTとリズムで躍動感溢れる授業実践」

(1) 教科領域等主任研修会

4月11日 (月)

校長・部長・企画委員会合同会議

(2) 寄居町教育研究会総会 (書面による承認)

5月6日 (金)

(3) 教科領域部長会

5月18日 (水)

(4) 小中学校一斉研究会 (深谷市と共催)

11月4日 (金)

(5) 各種展覧会・コンクールの実施

(6) 『研究紀要』の作成

※ 令和4年度は、教育講演会を実施せず。

9. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 岡 村 和 美

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の1市3町の小学校24校、中学校8校に在籍する教職員673名の教職員で組織され、30の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 新旧本部役員研修会 4月8日 (金)
- (2) 組織づくり 4月13日 (水)・14日 (木)
→実施を要する部会のみ、研究会員全員または役員のみで各研究会会長校で実施。
- (3) 理事研修会及び総会 5月13日 (金)
- (4) 部長会議→中止。本年度の事業計画の見直し。
- (5) 本部役員研修会 (12月／1月)
- (6) 各研究会の活動
 - ①授業研究会及び実技研修会 ②美術展 ③科学展
 - ④音楽会 等を運営
- (7) 『研究集録』の作成

10. 寄居町教育研究会

会長 関 口 葉 子

本研究会は、寄居町内の小学校6校、中学校3校に在籍する教職員168名の教職員で組織され、30の教科領域等の研究部で構成されている。

1 本研究会の基本方針

- (1) 教育課程研究推進のため、会員相互の研修を充実する。
- (2) 児童生徒の学力向上と健全育成のため、小中学校の連携強化と各種事業の推進に努める。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、深谷市と共催の授業研究会、町内各部の研修会を実施し、各部の研究課題に取り組んでいる。

11. 羽生市教育研究会

会長 樋 口 成 久

本研究会は、羽生市内の小学校11校、中学校3校の教職員284名により、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

変化の激しい社会への対応とその要請に応えるため主体的・積極的な研究活動を通し、羽生市学校教育の充実と質的向上を図ることを目的としている。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3密を避ける等の工夫を図った研修会の実施やオンラインによる研修会など、多様な形で研究を推進する。

(1) 定期総会・研究協議会

期日 5月23日 (月) オンライン開催

本部 羽生市立羽生北小学校

(2) 教育講演会

期日 7月22日 (金) オンライン開催

本部 羽生市立須影小学校

演題 「豊かな人間性と社会性を育む学校教育」

講師 共栄大学教育学部

学部長兼教授 濱 本 一 氏

(3) 各研究部による研修会

①授業研究会 ②研修会 ③実技研修会

④施設見学等

(4) 各研究部主催による展覧会等

①硬筆展 ②書きぞめ展 ③科学展 ④美術展

⑤音楽会 ⑥陸上記録会等

12. 吉川市教育研究会

会長 小 山 悟

本研究会は小学校8校、中学校4校の計12校に在籍する教職員365名を会員とし、27の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、吉川市内小中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 事業

- (1) 教育に関する研究会、発表会、講演会等の開催
- (2) 教育に関する研究調査や研究物の刊行
- (3) 市内各校及び教育関係機関との連絡提携
- (4) その他、目的達成に必要な事業

3 主な事業内容

- (1) 定期総会・講演会 5月（分散決議、オンライン）
- (2) 評議委員会・研究部長会 年4回（人数制限）
- (3) 研究部全体会 年1回（リモート会議）
- (4) 各研究部研究協議会 各部 年2回程
- (5) 主催行事
 - ①硬筆展 ②書きぞめ展 ③科学展 ④音楽会
 - ⑤美術展 ⑥発明創意くふう展 ⑦陸上競技大会
 - ⑧英語弁論大会 ⑨読書感想文審査会

13. 松伏町教育研究会

会長 齋 藤 明

本研究会は、松伏町内小学校3校、中学校2校に在籍する教職員133名を会員として組織され、27の研究部会で構成されている。

1 本研究会の目的

教育の研究を推進し、松伏町教育の進歩向上に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 本部役員会 年2回
- (2) 研究部分科会 5月（Web開催）
研究部事業計画案の検討と研究テーマの設定
- (3) 総会・全体研修会 5月（Web開催）
- (4) 教科等研究部長研究協議会 5月（Web開催）
- (5) 夏季小中合同研修会 8月（Web開催）
- (6) 各研究部の授業研究会、研究協議会
- (7) 陸上大会、音楽会、科学展、なかよし遠足 等
- (8) 『研究集録』の発行

※ 「5校は1つ」を合言葉に、できる限り中止や紙面発表とはせず、連携を図りながら感染防止対策として、Web開催で実施した。

また、小中学校の授業公開における参観機会を共有することを、本年度より実施している。

籍する教職員235名で組織されている。

27の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、白岡市の教育の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 専門部研究協議会
期日 4月14日（木）
会場 白岡市立西小学校
内容 研究会長挨拶、資料説明、研究協議、部会ごとの研究協議 等
- (2) 第1回常任理事及び理事研究協議会
期日 4月26日（火）
会場 白岡市立西小学校
内容 令和3年度事業報告及び監査報告
令和4年度役員（案）及び令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）、申し送り事項確認等
- (3) 令和4年度第46回定期総会
期日 5月6日（金） ※書面決議
- (4) 各研究部会の活動
期間 4月から令和5年2月
内容 各研究部会主体による研修会、授業研究会等の実施



14. 白岡市教育研究会

会長 新 井 範 夫

本研究会は、白岡市の小学校6校、中学校4校に在

- ※12月中旬に原稿執筆依頼文を発送します。

令和3年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『器械運動の楽しさを味わい、主体的に運動に取り組む児童を育成する体育科授業の実践的研究
～「評価」を助ける観察的評価法の開発と学習カード、ICTの活用に焦点を当てて～』 【体育】
三郷市立早稲田小学校 教諭 中嶋 圭一郎

1 研究の概要

本研究は、「評価」を授業改善の視点に据え、①児童生徒の学習改善につながるもの、②教師の指導改善につながるものを目指した実践的事例研究である。

OPPA理論をもとにした学習カードや、器械運動における資質・能力の高まりを評価する観察的評価法の開発、ICTの効果的な活用を行うことで、主体的に運動に取り組む児童を育成するのに効果があるか検証した。授業の効果を測るため、高橋（2003）の形成的授業評価、開発した観察的評価法、高橋（2003）の体育授業評価方法（診断的・総括的授業評価）を使用した。

2 研究の成果と課題

観察的評価法を作成し基準のもと数値化することで、

教師の指導の効果を確認することができた。学習カードにおいては、教師も児童も単元の学習の軌跡を俯瞰してみることができ、児童の学びの改善を促したり、児童の記述から教師の指導改善に役立てたりすることができた。

体育科におけるICTの活用においては、使用する時間を限定することが運動時間を確保することにつながり、児童の運動への満足感につながった。

一方、児童の資質・能力を数値化した観察的評価法は妥当性と信頼性が課題である。運動における「わかった」は記述や児童の発言から見取ったが、身体知的な「わかった」かは判断が難しかった。

● 研究主題

『自尊感情・学級集団意識を向上させる体育授業の研究 ～「ゲーム修正論」「戦術アプローチ」を基にした「陣取り型ゲーム」の系統的指導に関する検討と実践～』 【体育】
さいたま市立善前小学校 教諭 中村 直紀

1 研究の概要

よい体育授業を通し、児童の自尊感情と学級集団意識を向上させることが、予測困難な未来を自らの力で切り拓いていくことに資すると確信し、本主題を掲げ数年間研究に励んでいる。

新学習指導要領において、中学年に「陣地を取り合うゲーム」が必修化された。しかし、本市において「陣取り型ゲーム」は、優れた先行実践があるものの広く普及しているとは言い難く、学年を超えた単元の系統性についても課題が残る。そこで副題を『「陣取り型ゲーム」の系統的指導』と設定し、研究と実践を行った。

2 研究の成果と課題

1～4年生までの単元計画を作成し、3年生以上において、複数学級の実践により、成果の客観的なエビデンスを取った（1・2年生は、校内事情により中村実践のみ）。主な成果（○）と課題（●）は以下のとおりである。

○成果検証をした全6学級において、自尊感情・学級集団意識がともに向上

○「ゲームパフォーマンス評価」によると動きも上達

○1～4年生までの系統立てた単元モデル・授業モデルが完成

●高学年での単元計画の作成及び小中連携が課題

● 研究主題

『自らが主体的にいのちを守る力を育む防災教育をめざして ～中学校社会科地理的分野「地域調査の手法」の単元開発を通して～』 【防災教育 社会科】
久喜市立栗橋西中学校 教諭 青柳 慎一

1 研究の概要

本研究は、中学校社会科地理的分野「地域調査の手法」の単元開発を通して、自らが主体的にいのちを守るための適切な避難行動ができる生徒の育成に有効な学習指導の工夫改善を図ることを目的とした。

防災の視点を組み込む方策を次に設定した。

- ① 身近な地域防災に関する教材開発や、地域の防災に関する理解を深める調査活動を工夫する。
- ② 地域の災害や防災の知識を活用して危険予測や危険回避について考える視点を調査活動に組み込む。

社会的事象の地理的な見方・考え方と防災の視点を組

み合わせて問いを設定した。そして、問いの構造化を図り、学校周辺の観察や野外調査などを位置付けて課題を追究する学習単元を構成し、授業を実践した。

2 研究の成果と課題

観察や野外調査などの作業的・体験的な学習活動の工夫が、自らが主体的にいのちを守るための適切な避難行動ができる力を高める上で有効であった。

特に、危険な個所が身近な地域にあると認識することができ、生徒の防災意識を高めることができた。本研究の成果を活かし、社会参画や教科等横断的な視点を働かせて、防災教育の一層の工夫改善に取り組んでいきたい。

令和3年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『入院中の生徒へのICTを活用した校外学習の取組

～コロナ禍でもできる! 体験的活動への試み～』 【総合的な学習の時間】

埼玉県立けやき特別支援学校 教諭 橋本 幹征

1 研究の概要

病気により入院している本校の児童生徒は、教育活動でも様々な制限を受けている。そこで、テレプレゼンスロボット等のICT機器を活用したオンラインによる校外学習を実施し、学習を保障したいと考えた。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により小・中学校においても教育活動に制約が増えた状況、そしてGIGAスクール構想を見据え、ICT機器を活用した校外学習における全体的な知見も得たいと考えた。

2 研究の成果と課題

オンラインによる学習は、場の雰囲気や広さ等の「実

感」については通常の実施が勝るが、今回協力していただいたレストランの厨房は衛生面から外部者の立入が不可であったため、オンラインだからこそ見学ができた。また、体験活動は教材が用意できれば概ね対応でき、質疑応答はオンラインでも通常と遜色なく実施ができた。

コロナ禍以降は教育活動も従来の形に戻せるのだろうか、衛生面や場所の狭さ等の理由から直接の見学が難しい場合は、オンラインによる学習を取り入れると学習の幅を広げられることが明らかになった。また、自宅療養や不登校等の児童生徒の学習保障としても、オンラインによる校外学習が十分に実施できることもわかった。

● 研究主題

『外国語科における「話すこと」の思考力、判断力、表現力の育成 ～3ヒントクイズを通じて宣言的知識と手続き的知識を統合、活用する児童を目指して～』 【外国語科】

さいたま市立下落合小学校 教諭 有江 聖

1 研究の概要

新学習指導要領実施に際し、小学校での外国語科の導入は大きな話題となった。そんな中、令和元年度の「全国学力学習状況調査【中学校／英語】」では「話すこと」における思考力の育成が喫緊の課題であることが指摘された。

本研究は、小学校外国語科で親しみの深い3ヒントクイズを常活動に設定し、「知識・技能」（宣言的知識）を習得するとともに、手続き的知識を指導することで、それらを組み合わせながら身の周りの事柄について説明する思考力、判断力、表現力の育成を目指したものである。

2 研究の成果と課題

田村（2021）の理論を基に手続き的知識の指導及び帯活動を実践した結果、判断基準である発表語彙の伸長に効果が見られた。

また、課題に対して瞬時に発話を引き出す即興性や「順序立てる」という新たな手続き的知識獲得による発話の構造化などの波及効果も伺えた。

課題として、外国語科における「思考力、判断力、表現力」の測定方法や更なるデータの信頼性の確立、着実な能力育成のための系統立てた指導計画等が挙げられた。

『 指 導 講 評 』

編集委員長 富田 敦 【さいたま市立土呂中学校長】

本年度も、「児童生徒が生き生きと活動する授業にしたい」「ねらいや身に付けさせたい力を明確にした授業にしたい」という先生方の授業改善の意欲に溢れた研究論文やこれまで目が付けられていなかった独自性や新鮮さが見られる創意に満ちた研究論文が応募されました。

研究に継続性のある論文も目立ち、一つの研究課題を数年間、複数校で継続研究することにより、実践研究から得られるデータの信憑性が高くなり、研究論文としての価値がより高まっていました。

特に、入賞された研究論文に共通した高い評価

として、

- ① 実践に基づいた授業実践であること
- ② 研究動機や理論、仮設、手立てが明確で、筋の通った研究であること
- ③ 実践研究からのデータがよく取れていて、確かな情報に基づいた分析をしていることなどが挙げられます。

これらの研究論文は、「教育立県、埼玉」の教育を担う様々な年代の先生方にとって、より貴重な道しるべとなるものであり、是非、日々の授業に生かしてください。

令和5年度 研究論文募集要領 (案)

埼玉県連合教育研究会

研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

応募者は、県内の公立小・中学校に勤務する教員(会員)の個人及びグループの研究(学校としての研究も含む)であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力(Word)により、4～6枚以内(写真、図表を含む)とし、文体は常体(「である」体)を原則とします。

また、研究論文には「表紙」を付け、その上に「応募票」を添付してください。

「表紙」には、①題名 ②勤務校 ③職名 ④氏名(グループ等代表者名)を記入してください。

5 応募票

「応募票」は、ホームページの各種提出書類の「研究論文応募票」からダウンロードしてください。

「応募票」の電子データを希望される方は、下記電話・E-mailにて事務局までお申し出ください。

「応募票」は、「個人研究」・「グループ研究」・「学校研究」別に「表紙」に添付してください。

6 応募上の留意点

- (1) 応募は、1人・1グループ・1学校1編とします。
- (2) 研究論文は、誌上未発表のものに限ります。
- (3) 「応募票」の『確約事項』の順守をお願いします。
- (4) 応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

7 原稿等の提出

令和5年9月8日(金) 必着 【令和4年度は9月9日(金)に締め切りました。】

「応募票」及び論文原稿の提出については、下記事務局へ電子メールでの送付も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、令和5年12月中旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、令和5年度『研究集録付研究論文集』及びホームページへの掲載を行い、入賞者には、本会評議員会(総会)後の入賞者表彰式にて表彰を行います。

なお、研究資料費として入選論文には7万円(最優秀賞は10万円)、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞(3万円)を設けています。

10 審査員

本部役員及び編集委員

11 応募先・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99 さいたま市立大宮東中学校内

埼玉県連合教育研究会事務局

TEL 048-641-0808

FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

ホームページURL <https://sairinkyoku.jp/>

令和5年度研究論文応募票				
令和5年度研究論文応募票				
【個人研究用】				
受付番号	氏名	勤務校	職名	備考
氏名	フリガナ			
勤務校	フリガナ			
職名	氏名(フリガナ)	フリガナ	フリガナ	フリガナ
年 齢	教職経験年数	フリガナ	フリガナ	フリガナ
※ 確約事項	1. 他のコンクール等に応募し、入賞された場合は、応募を自ら辞退することを確約します。 2. 選外に応募した同一または類似した内容の研究論文ではないことを確約します。			

(埼玉県連合教育研究会)

令和5年度研究論文応募票				
令和5年度研究論文応募票				
【グループ研究・学校研究用】				
受付番号	氏名	勤務校	職名	備考
氏名	フリガナ			
勤務校	フリガナ			
職名	氏名(フリガナ)	フリガナ	フリガナ	フリガナ
年 齢	教職経験年数	フリガナ	フリガナ	フリガナ
※ 確約事項	1. 他のコンクール等に応募し、入賞された場合は、応募を自ら辞退することを確約します。 2. 選外に応募した同一または類似した内容の研究論文ではないことを確約します。			

(埼玉県連合教育研究会)



ホームページ
QRコード